

# 第30回 石川県小児保健学会

みなさんは、「性分化疾患:DSD」という言葉を聞かれたことはあるでしょうか。

性分化疾患とは、「染色体、性腺、もしくは内性器や外性器など、性に関する体の発達が先天的に非定型的である状態」を示す医学用語です。判明時期は出生時、思春期前後、不妊検査後など様々で、日本では毎年180～210人の赤ちゃんが何らかのDSDをもって生まれてくるといわれています。LGBTとはまた異なる、体の性のバリエーションを意味します。

今年度は、「ネクスDSDジャパン」を主宰され、全国各地でDSDを持つ子どもと家族の支援活動をされているヨヘイル先生に特別講演をお願い致しました。DSDの正しい理解と具体的な支援について、分かりやすく実践的な内容をお話しいただく予定です。

乳幼児期から学童期、思春期など、子ども達に関わる多くの方々にご参加いただければと思います。ご案内させていただきます。

日時 令和元年10月20日(日) 13:30～16:30  
会場 金沢市保健所「すこやかホール」  
金沢市西念3丁目4-25(3F)  
学会長 塚脇 京子(石川県助産師会)  
参加費 1,000円

## プログラム

☆ 一般演題 5題 (13:40～14:30)

☆ 特別講演 (15:00～16:30)

「性分化疾患の正しい理解と支援」

講師 ヨヘイル 氏

日本性分化疾患患者家族会連絡会

ネクスDSDジャパン 主宰

\* 事前参加申し込みの必要はありません。特別講演のみの参加も可能です。

日本小児科学会新専門医制度小児科領域講習認定(1単位)



### 【事務局】

石川県小児保健協会事務局

〒920-0942 金沢市小立野5-11-80

金沢大学医薬保健研究域内

TEL: 076-265-2572 (津田)

FAX: 076-234-4363

E-mail: akikotsu@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp